

## 第 3 6 7 回白石市議会定例会 一般質問通告書

順位	質 問 者	質 問 事 項 ・ 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1	4 番 吉 田 貞 子	<p>1 市民活動の活性化と、市の支援について</p> <p>第 4 次白石市総合計画の目標は、「市民と行政とのパートナーシップによる暮らし日本一」です。</p> <p>このグランドプランを実現する政策の一つとしてボランティアやNPOなど、市民活動の育成、支援が重要とされています。以下のことについて、見解を伺います。</p> <p>(1) 市民活動と市の連携のあり方について</p> <p>(2) 市の市民活動への育成・支援の具体的方策について</p> <p>(3) 地域コミュニティ育成支援事業の補助期間が終了した団体の今後の支援体制について</p> <p>(4) 文化、体育、社会貢献など様々なシーンで活動してきた諸団体への支援は、今後どのように展開していこうとお考えか。</p> <p>(5) 社会福祉協議会のバスを利用できなくなった団体への、市としての対応について。</p> <p>また、市民活動をする上で、輸送手段の支援の方策はないか。</p> <p>(6) 今後、団塊の世代や田舎暮らしなど、ボランティアへの参加、新たな市民参加が考えられる。受け皿としての整備体制について。</p> <p>(7) 市と市民活動のコーディネーター役として、今後の市民活動センターの体制整備について</p>	市 長
2	1 2 番 四 竈 英 夫	<p>1 城下広場の有効活用と、「軽トラ市」の創設について</p> <p>城下広場が舗装されることになり、市民にとってますます親しみやすい、利用しやすい広場となることが期待されます。</p> <p>そこで、この広場の活用の一つとして地元の農家や一般市民が、「軽トラック」を使用して、地元産の野菜や果物、山菜、手作り加工食品などを販売する「軽トラ市」を、市が呼びかけて創設してはどうか。</p> <p>産直販売は流通の原点であり、顔の見える販売方式は、安全、安心な食品を消費者に提供する最も確実な方法です。しかも軽トラックは移動が簡単なので、イベントなどがある場所へ自由に場所を変えることができます。</p> <p>地元産の野菜、果物などを有効に活かすとともに街に賑わいをつくる「軽トラ市」を創設してはどうかお伺いいたします。</p>	市 長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
3	7番 山田裕一	<p>1 学校いきいきプラン（特別支援教育における教員補助者）について</p> <p>白石市では、独自に小学校・中学校の障がい児等の特別支援について教員補助員を採用しているが、支援内容及び補助員についてお伺いします。</p> <p>2 学校・家庭・地域社会の連携について</p> <p>核家族や共稼ぎの増加に伴い家庭で子どもをしつかりたりすることや日本社会に受け継がれてきた社会規範が少しずつ失われてきている。家庭や地域が一丸となって子どもたちをはぐくむ環境づくりとして、「早寝早起き朝ごはん」国民運動や放課後の「子ども居場所作り」のプランは当市においてどのように発展させようとしておられるのか、お伺いします。</p>	<p>教 育 長</p> <p>教 育 長</p>
4	5番 沼倉啓介	<p>1 今後の分校の進むべき方向性について</p> <p>本年4月1日より福岡小学校長峰分校が休校措置となりそれらに伴う様々な物事に対応が図られたことは記憶に新しい事でもあります。</p> <p>益々加速する少子化の動きの中で、分校の今後とそれらから生じる問題点とそれらの対応策についてお示し頂きたい。</p>	<p>市 長</p> <p>教 育 長</p>
5	3番 水落孝子	<p>1 国保・資格証明書発行について</p> <p>(1) 平成14年から、国保税を払えない人に、資格証明書の発行（保険証のとりあげ）をしていますが、発行の目的と、目的から見た推移についてお示し下さい。</p> <p>(2) 資格証の方は、受診をがまんし、命を縮めたり、命を落としたりする例が出ています。本市での受診の状況はどうなっていますか。</p> <p>(3) 助け合いの保険制度であるから、公平な負担をお願いするとおっしゃるでしょうが、国保法第一条には社会保障制度だと明確に規定されています。国保制度の目的と国保証とりあげの実態に乖離があると思いませんか。</p> <p>(4) 国民皆保険制度として発足した国保制度の形骸化と思いませんか。</p> <p>(5) 保険者である自治体が判断する「特別の事情」に病気の場合は入ると思うがどのような取扱いになっていますか。障がい者、高齢者、乳幼児をかかえる世帯はどうですか。</p> <p>(6) 資格証発行と憲法第25条との関係についての見解をおたずねします。</p>	<p>市 長</p>

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
		<p>2. 乳幼児医療費助成制度について</p> <p>過去2回質問しており、この制度は子育て支援策として大変有効であるとお認めいただいているところですが、制度拡充に向けた進展状況についておたずねします。</p> <p>(1) 検討された現段階での到達点について詳しくご説明下さい。</p> <p>(2) 定率減税の廃止で収入が増えなくても、税負担が増えています。所得制限緩和が必要ではないのか。</p> <p>(3) 白石市次世代育成支援行動計画の中では、現状維持となっています。</p> <p>平成21年度にみなおしをして、後期計画を定めるとしてはいますが、前期計画期間中であっても様々な状況の変化によりみなおしの必要性が生じた場合は適宜、計画のみなおしを行うとしています。みなおしの必要性を具体的にお示し下さい。</p> <p>3 多重債務者について</p> <p>多重債務者に悩む人は大変多く、いっこうに減らない状況です。そうした中で県は夏までに対策本部を設置することになりました。そこでお尋ねします。</p> <p>(1) 連動して市でも取り組むようになるのか、その場合の予定について。</p> <p>(2) 連動しない場合、本市でも充実した相談窓口設置が必要と思うが見解をお示し下さい。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>
6	9番 佐久間 儀 郎	<p>1 行政情報の開示について</p> <p>広報しろいしには多くの行政情報が掲載され、できる限り市民に身近な行政であろうと努力なされています。</p> <p>市民の多くは、国の三位一体改革において権限移譲が促進され、補助金や、地方交付税の削減が顕著になっており、税源分配論議は方針が定まっておらない状況をうけ、今後の市政運営が財政的にどうなのかと危ぶんでおります。</p> <p>自主財源より依存財源の比率の高い当市においてはこれからの財政運営が大変であろうと漠然とした感覚、生活に必要な事業に十分な予算が組めるのかを不安視しています。そこで、こうした市民の不安を解消するために、決算報告だけではなく、当初予算の段階から事業の使途や財源、市有施設管理表、補助金類の詳細、各種財政指標と近隣自治体との比較などわかりやすく説明する「財政冊子」を作成し各戸配布をなされてはいかがでしょうか。</p> <p>従来の広報のあり方をもう一步改善、工夫なされ</p>	<p>市長</p>



